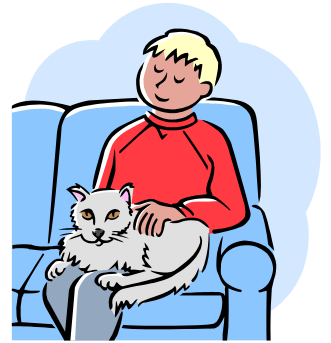


ネコの飼い主さん！

家の中で飼いましょう

ネコは室内飼育でもストレスなく生きられます。外に出すと、交通事故にあう危険や、病気や害虫をもらう危険があります。のぼりおりの運動ができる場所や、つめとぎをする場所を作ってあげましょう。

近隣の敷地でふん尿をしたり、夜間の鳴き声がうるさいなど、ご近所の迷惑にならないように配慮をお願いします。



首輪(迷子札)をつけましょう

飼い主の名前や連絡先を書いた首輪をつけましょう。ネコが外に出てしまった場合、迷ってしまった場合などにも、飼いネコであることがわかり、飼い主のもとに戻れる可能性が高まります。ひっかかり防止、ダニよけなど色々な機能のついた首輪があります。飼いネコのことを考えて、首輪を選んでみませんか？

避妊去勢手術について考えましょう

ネコは1年に3～4回妊娠し、1回に4～8匹の子ネコを生みます。罪のない命を奪わないためにも、子ネコを望まない場合は避妊去勢手術をしましょう。手術によって、発情期特有の鳴き声がなくなったり、スプレー行動をしなくなるなど、室内飼いもしやすくなります。

ネコのフン・えさやりの苦情が寄せられています

ご近所の迷惑になっていないか気を配りましょう

近所のネコやのらネコが庭や畑でフンをするといった苦情が寄せられています。ネコが好きな人ばかりではありません。ネコを飼う場合は、フンの始末をきちんとしましょう。



のらネコへの無責任なえさやりはやめましょう

えさをやるだけ・やりっぱなしでは、ネコのためにも人のためにもなりません。食べ残しが腐る、虫が寄ってくるなど不衛生ですし、ご近所の迷惑にもなります。

「かわいそう！」と思うなら・・・きちんと飼いネコにして管理するなど、何が本当にネコのためになるか考えてみませんか？